

欧文の論文

シカゴスタイル
雑誌名の前 in いらぬ
ページ表記の前はコロンの

ける空間問題」において、ハイデガーの気分概念を引き受けて、「気分づけられた空間」について最初に論じたとみられる。Ludwig Binswanger, "Das Raumproblem in der Psychopathologie," *Zeitschrift für die gesamte Neurologie und Psychiatrie* 145, no. 1 (December 1933): 598-647.

213 ボルノウは『人間と空間』において「気分づけられた空間」について論じている。かれはそのなかで、ドイツ語の不安 *Angst* の語がもともと狭く *Enger* の語に由来するとして、両者のつながりを指摘した。だがそのつながりは一般化できないだろう。前訳書、二二二―二二五頁。

214 日本建築学会編『建築・都市計画のための空間学事典』(井上書院、一九九六年)。日本建築学会編『空間デザイン事典』(井上書院、二〇〇六年)。

215 芦原義信『外部空間の構成―建築から都市へ』(彰国社、一九六二年)。

216 芦原義信『外部空間の設計』(彰国社、一九七六年)。

217 同書、六二―七七頁。

218 Brian O'Doherty, *Inside the White Cube: the Ideology of the Gallery Space* (University of California Press, 1999).

219 Christoph Grunenberg, "The Modern Art Museum," in *Contemporary Cultures of Display*, ed. Emma Barker (Yale University Press, 1999), 26-49.

220 社会学者ブルデューは、著書『ディスタンスション』において「純粋な」視線が、支配階級である「文化貴族」

の視線であることを証明した。かれは、美術館がこの「純粋な」視線をうながす場であることにも触れている。ブルデュー『ディスタンスションI』(藤原書店、一九九〇年)四九頁。

221 川口幸也「ホワイト・キューブの闇―モダニズムの語りのしかけ」『現代の眼』五二五号(二〇〇一年二月)五―七頁。

222 出原均「(インスタレーション)の展開とその変容」『美学』五〇号(二〇〇〇年三月)二五―三六頁。辰巳晃伸「インスタレーションの成立と展開―現代アートと展示」『芸術展示の現象学』太田喬夫・三木順子編(晃洋書房、二〇〇七年)七三―九六頁。Juliane Rebenisch, *Ästhetik der Installation* (Suhrkamp, 2003); trans. *Aesthetics of Installation Art* (Sternberg Press, 2012).

223 ビエ・トリオー『演劇学の教科書』(国書刊行会、二〇〇九年)。

224 Walter Gropius, "Die Arbeit der Bauhausbühne," (1922) in *Das Bauhaus: 1919-1933: Weimar, Dessau, Berlin und die Nachfolge in Chicago seit 1937*, 5. Aufl., hrsg. von Hans M. Wingler (Dumont, 2005), 70-72.

225 青木加苗「バウハウスの舞台概念をめぐって―シネライヤ、グロピウス、シュレンマー」『美学』五七巻三号(二〇〇六年二月)二九―四二頁。

226 青木加苗「(バウハウス・ダンス)に見る人間性―ヘトリアディック・パレエ」との比較から」『デザイン理論』五六号(二〇一〇年夏)一一―一五頁。

和文の書籍

和文の論文

欧文はシカゴマニュアルの注スタイル

和文の書籍

欧文の書籍

出版地省略

和文の書籍の一部

欧文の書籍の一部

出版地省略
書籍名の前 inをはさむむ
ページ表記の前はコンマ

士の心をうったものであろう」。

041 磯崎新『建築における「日本的なもの」』(新潮社、二〇〇三年)一三三—一三四頁。

042 Charles Jencks, *The Language of Post-Modern Architecture* (Academy Editions, 1977).

043 Heinrich Klutz, *Kunst im 20. Jahrhundert: Moderne - Postmoderne - zweite Moderne* (Beck, 1994).

044 Philip Johnson and Mark Wigley, *Deconstructivist Architecture* (Museum of Modern Art, 1988).

造形

045 ドイツ語の語源辞典を参照。Jacob Grimm und Wilhelm Grimm, *Der Digitale Grimm: Deutsches Wörterbuch* (Zweitausend-eins, 2004). Hermann Paul, *Deutsches Wörterbuch: Bedeutungsschicht und Aufbau unseres Wortschatzes* (Niemeyer, 2002).

046 Annette Diefenthaler, "Gestaltung," in *Design Dictionary: Perspectives on Design Terminology*, ed. Michael Erhoff and Tim Marshall (Birkhäuser, 2008), 190-193.

047 本書は、ドイツ語の Kunstgewerbe の語を、' 応用美術の意味において「工芸」と短く訳す。ただし Kunstgewerbe は、' 産業 Gewerbe の意味において、' 軽工業まで含むうることに注意したい。たしかに Kunstgewerbe のうちには美術 Kunst の語が含まれるが、これを「美術工芸」と訳すのはよくない。日本に

において「美術工芸」の語は、鑑賞用工芸の意味でもちいられてきたからである。

048 田所辰之助「ヘルマン・ムテジウスとドイツの工芸学校改革—プロイセン産業局の創設とその施策をめぐって」藤田治彦編『近代工芸運動とデザイン史』(思文閣出版、二〇〇八年)一五九—一七七頁。

049 オッフエンバッハ造形大学の沿革については次を参照。Martina Heßler und Adam Jankowski, "Archäologien einer Institution. Von der langen und der kurzen Geschichte der HfG," in *Gestalt / Create - Design Medien Kunst: 175 Jahre HfG Offenbach* (Hochschule für Gestaltung Offenbach, 2007), 454-475.

050 オッフエンバッハ造形大学は、錯綜した歴史をたどってきた。一八七七年に「職工学校」と「産業美術学校」とが統合されて、その学校が一八八五年から一八九〇年までの短い期間において「工芸学校」を名乗っていた。そのうちこの学校は、一九四九年に「工作学校」に落ち着くまで、組織改編と名称変更をいくどとなく繰り返してきた。その理由として、第一に、職人の育成という旧来の使命を維持しながら、第二に、創業者としての産業美術家の育成も必要となり、第三に、新しい産業にたずさわる技術者の育成も急務となったことがある。すなわち、一つの学校がこれら三つの異なる要請に 대응しようとしたために、学校組織が安定しなかったとみられる。前注の書物の巻末にある年譜をとおして、学校名の変遷を知ることができる。

〇九年)五七六頁。Sigfried Giedion, *Space, Time and Architecture: the Growth of a New Tradition*, 5th ed. (Harvard University Press, 1967), 497.

60 Gianbattista Bodoni, *Manuale Tipografico* (1818; repr. Taschen, 2010).

61 Jan Tschichold, *Neue Typographie* (Bildungsverband der Deutschen Buchdrucker, 1928; repr. Brinkmann & Bose, 1987).

62 本書二〇—二二二頁を参照。

63 これは「国際構成主義」とも呼ばれる。

64 村山における構成主義の理解については次を参照。滝沢恭司「日本の構成主義とマヴォ」『構成主義とマヴォ』(ゆまに書房、二〇〇七)七四七—七六五頁。五十殿利治『大正期新興美術運動の研究』改訂版(スカイドア、一九九八年)。

65 村山知義「構成派批判—ソヴェート露西亞に生まれた形成芸術の紹介と批判」『みづゑ』二三三号(一九二四年七月)二—一五頁、二三五号(一九二四年九月)九—一三頁。この論文はすぐに次に再録された。村山知義「現在の藝術と未来の藝術」(長隆舎書店、一九二四年)、新版(本の泉社、二〇〇二年)。

100 村山知義「一つの舞台装置」『中央美術』一一卷二号(一九二五年二月)五六—五七頁。

101 村山知義「構成派に関する一考察—形成芸術の範囲に於ける」『アトリエ』二卷八号(一九二五年八月)四五—五八頁。

102 同書、五五—五八頁。

和文の古い記事

再録情報 再版情報

茶せんのような工芸品を紹介するところで、日本らしい関心をしめしている。

- 192 当時の意匠課長は、選定基準について次のように述べている。「使うための機能から滲み出た形態であることが、グッド・デザインの第一要件となるのであり、これはまた同時に機能から必要でない装飾はできるだけ取り去るべきであるということにもなる」。高田忠「グッド・デザイン選定の目的とその手続」『グッド・デザイン—その制度と実例』(中小企業出版局、一九五八年)、再録『Gマーク大全—グッドデザイン賞の50年』日本産業デザイン振興会編(美術出版社、二〇〇七年)一七四—一七七頁。
- 193 Antonio Hernandez, "Die Gute Form am Ende ihrer Möglichkeit.", *Werk*, Nr. 6 (Juni 1968): 403-406.

欧文の論文

シカゴスタイル
雑誌名の前 in いら
ない
ページ表記の前はコロ

- 194 Lucius Burchardt, *Design ist unsichtbar. Entwurf, Gedächtnis & Pädagogik* (Schnitz, 2012), 13-25. Lucius Burchardt, "Design ist unsichtbar," in *Design ist unsichtbar*, hrsg. von Österreichisches Institut für Visuelle Gestaltung (Löcker, 1981), 13-20.



- 195 Nosedá, *op. cit.*, 184.

- 196 シャーベロ、ゴンブリッチ『様式』細井雄介、板倉壽郎訳(中央公論美術出版、一九九七年)。

- 197 Aaron Meskin, "Style," in *The Routledge Companion to Aesthetics*, 3rd ed. (Routledge, 2013), 442-451.



- 198 ヒッチコック、ジョンソン「インターナショナル・スタイル」武澤秀一訳(鹿島出版会、一九七八年)。Henry-Russell

欧文の書籍の一部

シカゴスタイル
書籍名の前 in はさむ
ページ表記の前はコンマ

欧文の書籍の一部

書籍名の前 inをはさむむ
コンマの後はページ数のみ

欧文の書籍

シカゴスタイルただし出版地省略
コンマの後はページ数のみ

- 263 Mann, 1999).
- 263 ハルバートル、マルガリート『偶像崇拜—その禁止のメカニズム』大平章訳（法政大学出版局、二〇〇七年）。
- 264 Daniel Libeskind, *radix-matrix: Architecture and Writings* (Prestel, 1997), 36.
- 265 Daniel Libeskind, *The Space of Encounter* (Universe, 2000), 26.
- 266 James E. Young, *At Memory's Edge: After-Images of the Holocaust in Contemporary Art and Architecture* (Yale University Press, 2000), 184-223.
- 267 ホロコースト記念碑の設立の経緯を知ろううえで重要な資料集。Ute Heimrod, Günter Schlusche, Horst Seifens, Hsg., *Der Denkmalsreit - das Denkmal: die Debatte um das Denkmal für die ermordeten Juden Europas: eine Dokumentation* (Philo, 1999).
- 建築
- 268 Christoph Feldkeller, "Architektur," in *Ästhetische Grundbegriffe: historisches Wörterbuch in sieben Bänden*, Bd. 1 (J.B. Metzler, 2000), 286-307.
- 269 明治期における architecture の訳語の定着をめぐるは次を参照。特集「建築改名二〇〇年」『建築雑誌』一四一〇号（一九九七年八月）。
- 270 伊東忠太「アーキテクチュール」の本義を論じて其譯字を撰定し我が造家學會の改名を望む『建築雑誌』九〇号（一九四四年六月）一九五—一九七頁。この文章は次に所収されている。『日本近代思想大系一九都市建築』（岩波書店、一九九〇年）四〇五—四〇八頁。
- 271 前掲雑誌に所収されている次の論文を参照。中谷礼仁ほか「造家」から「建築」へ—学会命名・改名の顛末から『建築雑誌』一四一〇号（一九九七年八月）一三—二二頁。
- 272 中谷礼仁は、同論文において、伊東論文において語の理解のしかたに無理があるのも伊東のねらいの上だと結論づけてゐる。
- 273 五十嵐太郎「批判的地域主義再考—コンテクスチュアリズム・反前衛・リアリズム」『10+1』一八号（一九九九年九月）二〇五—二一六頁。
- 274 フランプトン「批判的地域主義に向けて」『反美学』フォスター編（勁草書房、一九八七年）四〇—六四頁。
- 275 フランプトン『現代建築史』中村敏男訳（青土社、二〇〇三年）。Kenneth Frampton, *Modern Architecture: a Critical History*, 4th ed. (Thames & Hudson, 2007).
- 276 キーディオ『空間・時間・建築』太田実訳（丸善、二〇〇九年）五七六頁。Sigfried Giedion, *Space, Time and Architecture: the Growth of a New Tradition* (Harvard University Press, 1967), 497.
- 277 ロウ『ミニエリスムと近代建築』伊東豊雄・松永安光訳（彰国社、一九八一年）三三—七一頁。Colin Rowe, *The Mathematics of the Ideal Villa and Other Essays* (MIT Press, 1987), 29-58.

訳書と原書の併記

和書の一部

和文の論文

編者の表記
英語だと複数名の場合
Name, et.al. eds.,

和文の訳書